

新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!NET

平成24年2月期 第2四半期決算説明会

株式会社アルバイトタイムス

平成23年10月17日

株式会社アルバイトタイムス 

新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!NET

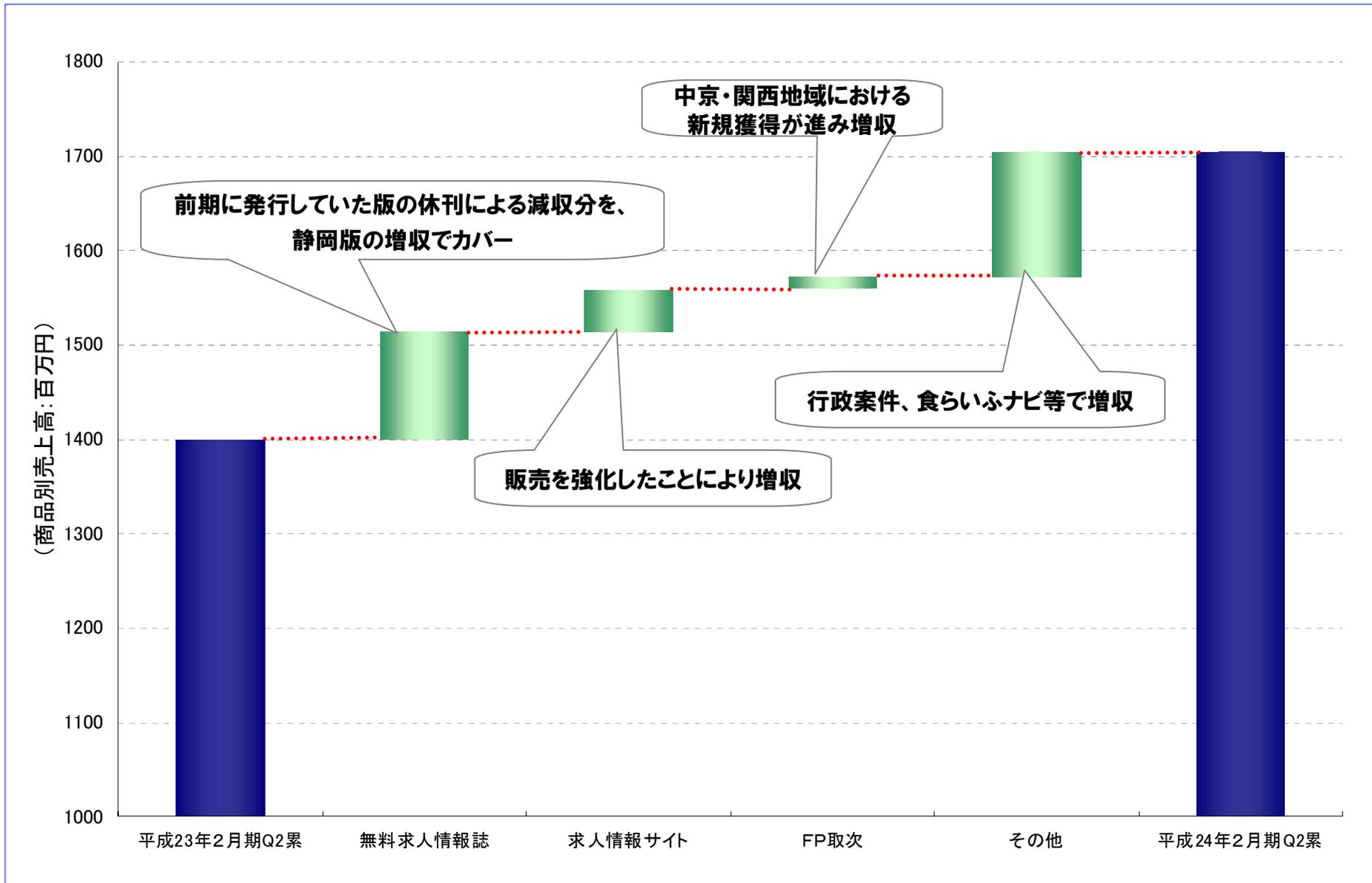
連結業績の概要

平成23年3月1日～平成23年8月31日

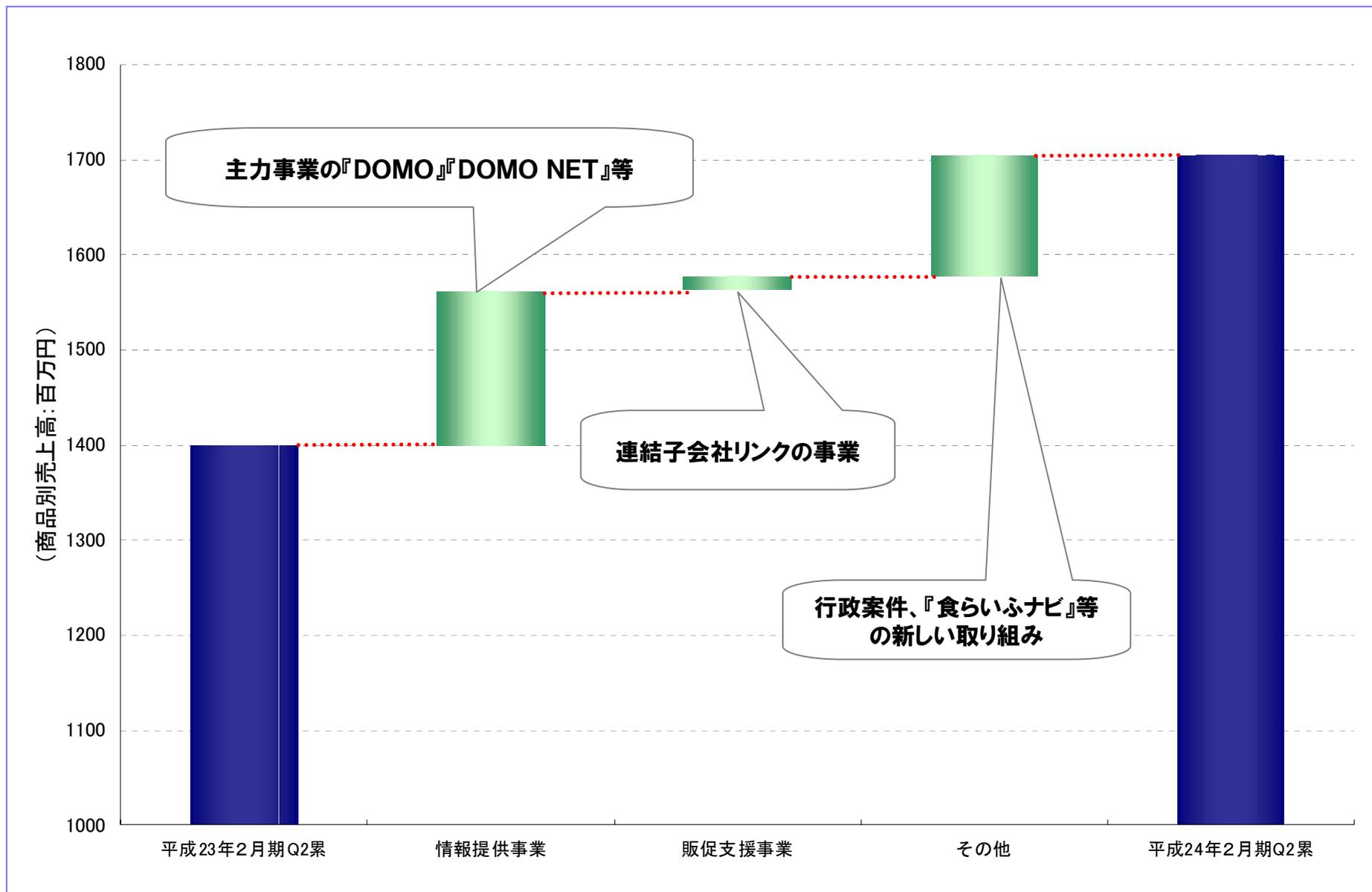
当第2四半期累計期間の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成24年2月期Q2累		平成23年2月期Q2累		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	1,705	100.0	1,400	100.0	304	21.7
売上原価	667	39.1	599	42.8	67	11.3
印刷費	201	11.8	201	14.4	△0	△0.0
労務費	120	7.1	55	4.0	65	116.4
減価償却費	64	3.8	68	4.9	△3	△5.6
その他売上原価	280	16.4	274	19.6	6	2.3
売上総利益	1,038	60.9	801	57.2	236	29.6
販管費	852	50.0	908	64.8	△55	△6.1
人件費	500	29.4	504	36.0	△3	△0.8
広告・販促費	59	3.5	36	2.6	23	65.3
流通費	44	2.6	106	7.6	△62	△58.2
減価償却費	36	2.2	46	3.3	△9	△20.8
その他販管費	210	12.4	214	15.3	△3	△1.7
営業利益	185	10.9	△106	△7.6	292	—
経常利益	190	11.2	△103	△7.4	293	—
税金等調整前	109	6.4	△106	△7.6	216	—
当期純利益	151	8.9	△102	△7.3	254	—
EPS	¥4.50		△¥3.05			

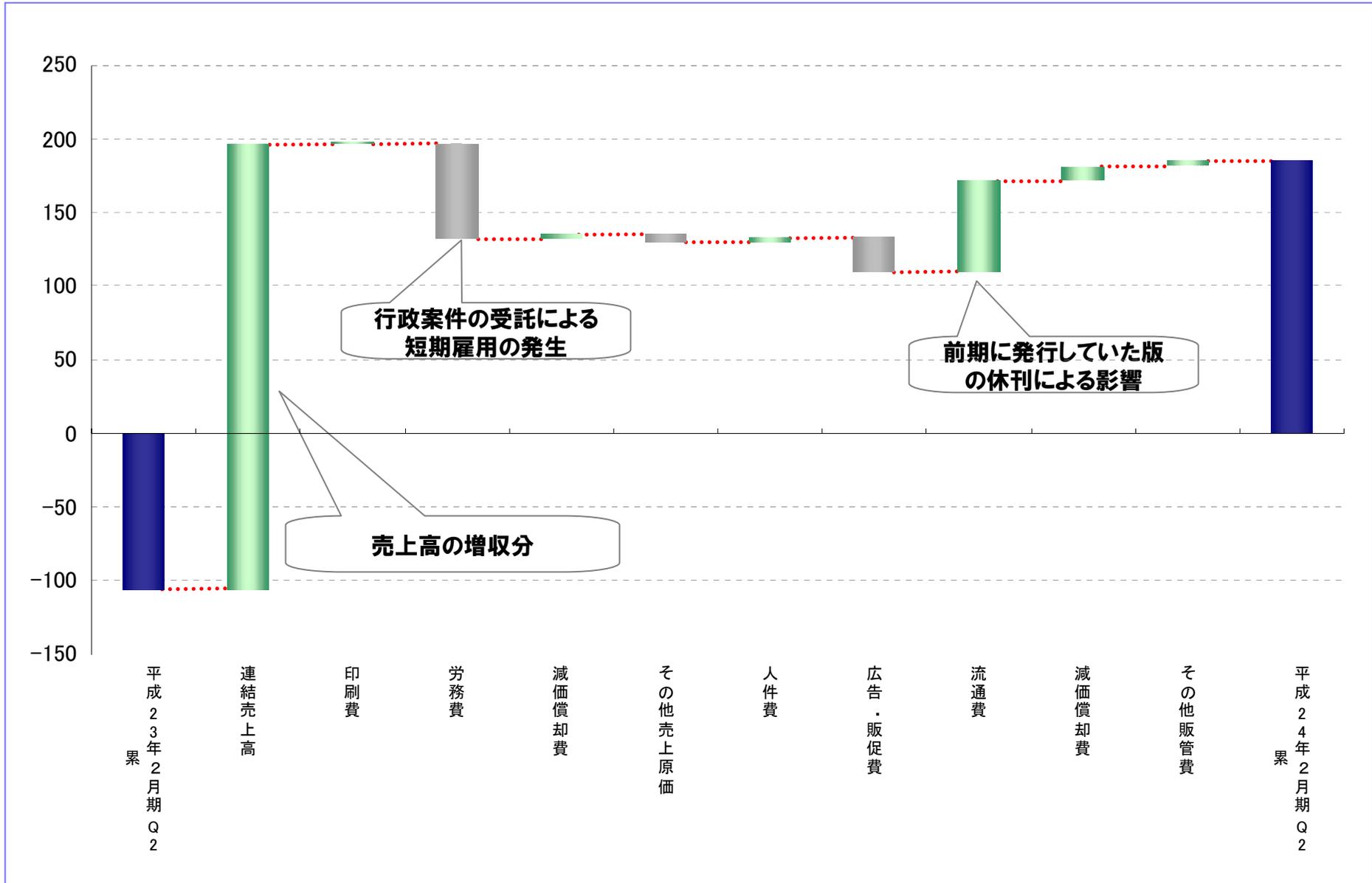
商品別売上高の増減要因



セグメント別売上高(参考)



営業利益の増減要因



当第2四半期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成23年8月末		平成23年2月末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	2,553	74.2	2,259	68.9	294	13.0
固定資産	886	25.8	1,020	31.1	△134	△13.1
資産合計	3,440	100.0	3,280	100.0	160	4.9
流動負債	372	10.8	363	11.1	8	2.4
負債合計	372	10.8	363	11.1	8	2.4
株主資本	3,067	89.2	2,916	88.9	151	5.2
資本金	455	13.3	455	13.9	—	—
資本剰余金	540	15.7	540	16.5	—	—
利益剰余金	2,071	60.2	1,919	58.5	151	7.9
自己株式	△0	△0.0	△0	△0.0	—	—
純資産	3,067	89.2	2,916	88.9	151	5.2
負債・純資産合計	3,440	100.0	3,280	100.0	160	4.9
BPS	¥91.20		¥ 86.70			

- 流動資産は現金及び預金が1,965百万円(前期末比16.0%増)、営業債権(受取手形及び売掛金)が398百万円(同1.9%減)等となりました。
- 固定資産は有形固定資産が671百万円(同7.5%減)、無形固定資産が143百万円(同38.0%減)、投資その他の資産が71百万円(同14.5%増)となりました。
- 流動負債は未払金が224百万円(同4.6%増)、賞与引当金が72百万円(同45.1%増)等となったためです。

当第2四半期累計期間の業績(CF)

金額・増減額:百万円	平成24年2月期Q2累	平成23年2月期Q2累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	301	100	201
投資活動CF	△31	△67	36
財務活動CF	△0	△0	0
増減額	270	32	237
期首残高	1,695	1,331	
期末残高	1,965	1,364	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前四半期純利益が109百万円、減価償却費が100百万円、固定資産臨時償却費が76百万円、賞与引当金の増加額が22百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額が3百万円、売上債権の減少額が7百万円、未払債務の増加額が8百万円等となった一方で、貸倒引当金の減少額が2百万円、未払消費税等の減少額が32百万円、法人税等の支払額が6百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、敷金及び保証金の返還による収入が11百万円等となった一方で、有形固定資産の取得による支出が9百万円、有形固定資産の除却による支出が4百万円、無形固定資産の取得による支出が17百万円、敷金及び保証金の差入による支出が12百万円となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 配当金の支払額が0百万円となったためです。

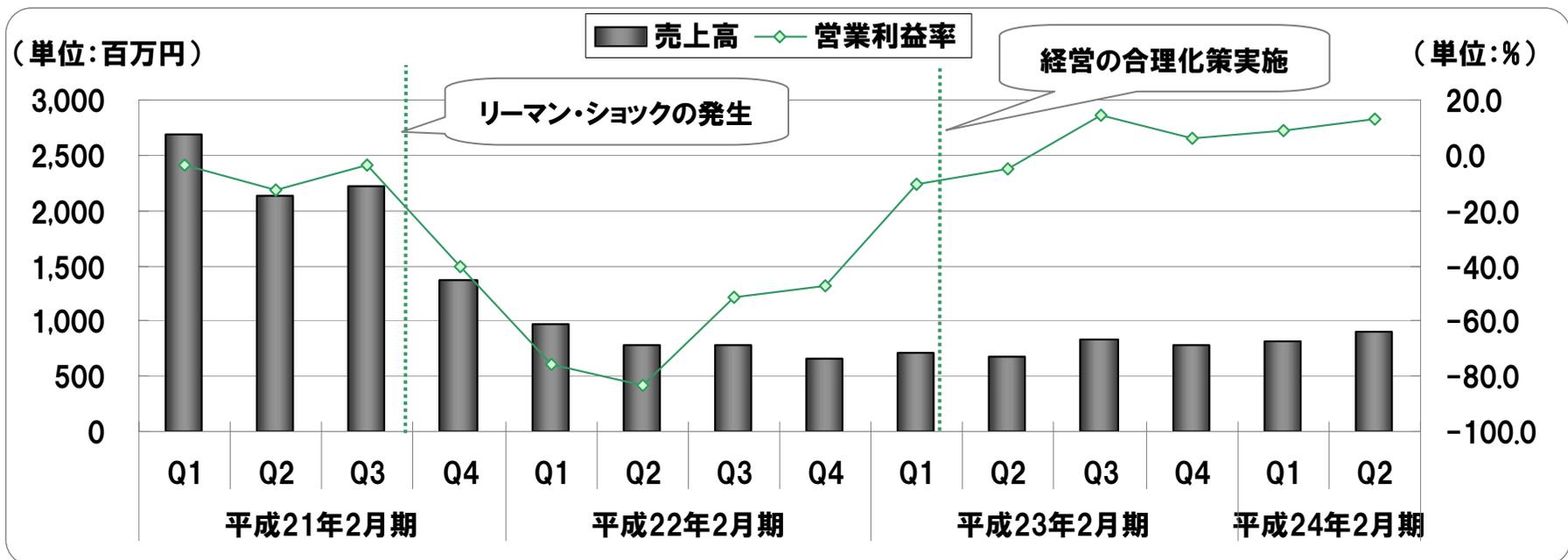
新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!NET

当第2四半期の総括

平成23年3月1日～平成23年8月31日

経営状態



継続的な売上高の縮小→業績の悪化→財務基盤の脆弱化→経営の合理化策実施

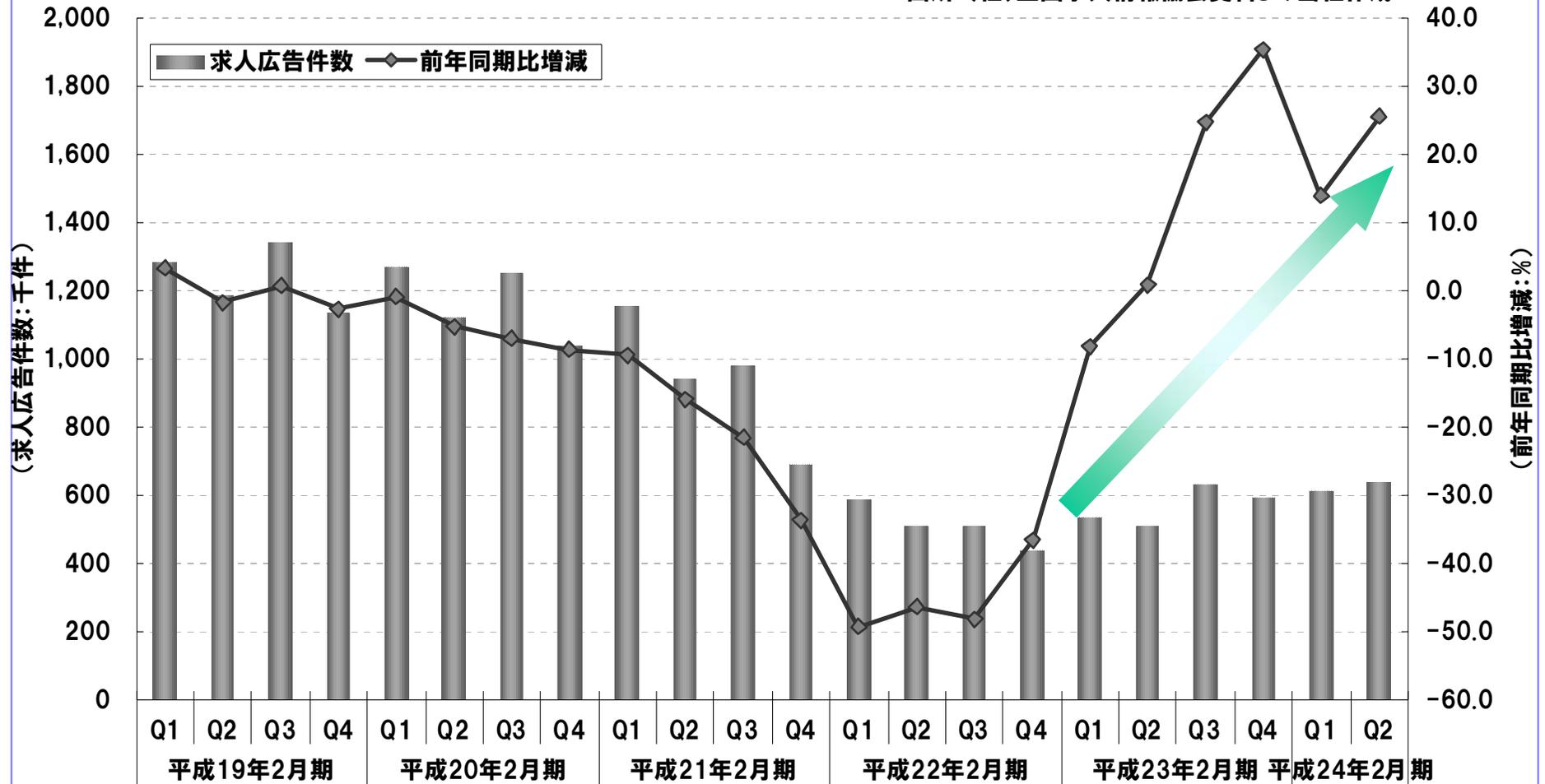
➤ 取り巻く環境

- ◆ 既存求人事業においては従来から縮小傾向が進んでいたが、平成22年2月期中に発生したリーマン・ショックを境に業績も急激な速さで大幅に悪化。
- ◆ 当社が主として事業を行っている求人関連事業は景気動向に敏感な事業であること、また、主力の事業が求人事業のみであることが、経営リスクとして否応なく露呈された。
- ◆ 平成21年2月期・平成22年2月期と、2期連続大幅な赤字を計上したことで財務基盤が脆弱化し、企業活動の継続に疑義が生じた。

事業環境①

全国の求人広告件数の推移
(正社員系及び非正社員系の合計、求人情報誌のみ)

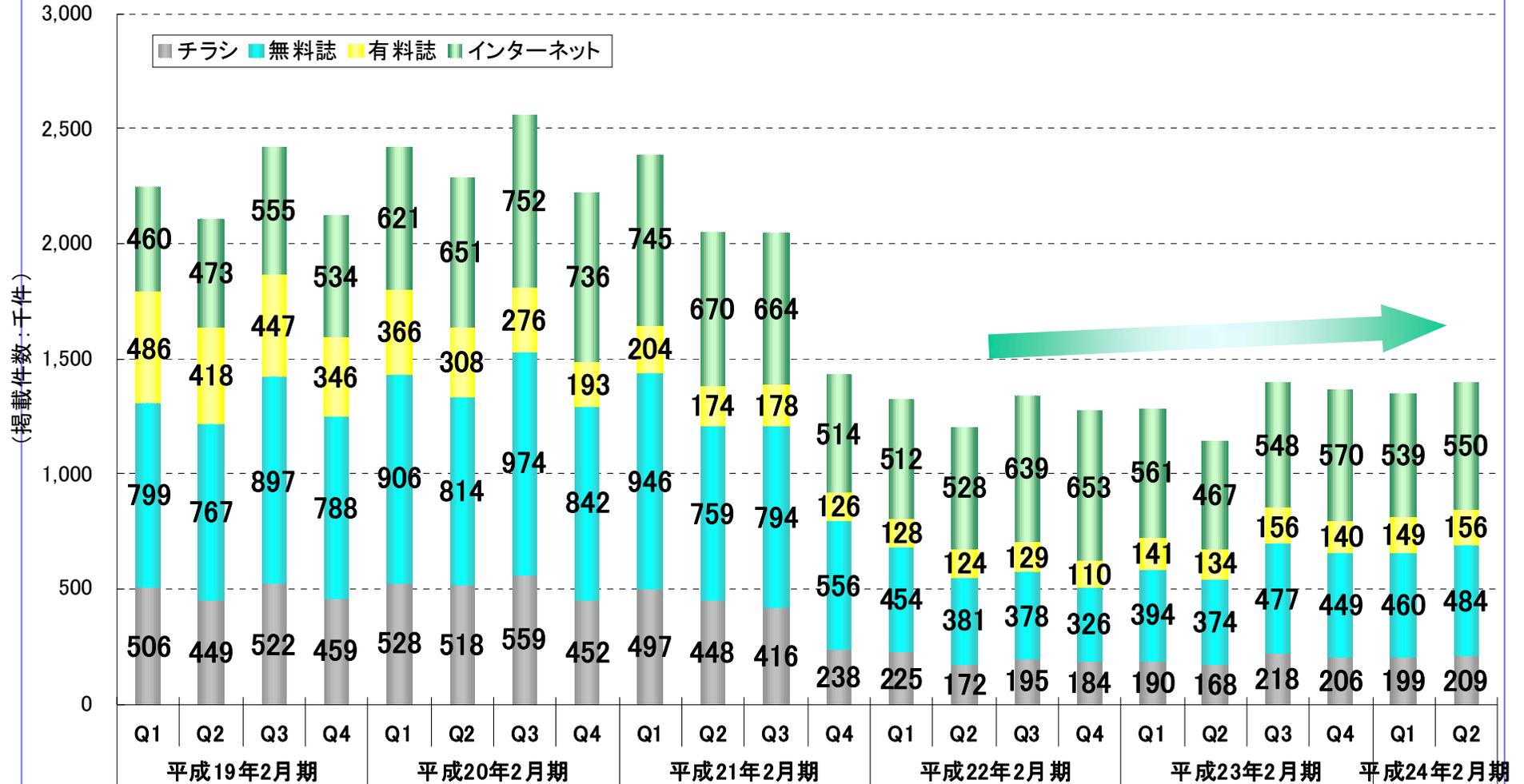
出所:(社)全国求人情報協会資料より当社作成



事業環境②

媒体別求人広告件数(全国)

出所: (社)全国求人情報協会資料より当社作成



当期の基本戦略

展開地域での競争力強化

- 求人情報展開地域での競争力の強化とマーケットに即した新たな情報・サービスの試金石を打つ。

新規事業の基盤確立

- 事業基盤の確立に向け、効果的に事業を運営。また、既存事業との連携を強化することで、より強固なブランドを育成する。

その他新規事業の立ち上げ

- 当社が成長していくためには、事業間での連携を強化し新しい事業を早期に確立する必要がある。各事業部が連携・協力することで、新しい事業を模索・展開していく。

基本戦略①

展開地域での競争力強化

➤ アルバイト・パート層から正社員層まで

- ◆ 前連結会計年度より実施している「シゴトフェア(旧名称:正社員向け合同企業ガイダンス)」の継続実施
- ◆ 『DOMO NET』正社員版オープン

➤ 飲食店向けSP広告の販売

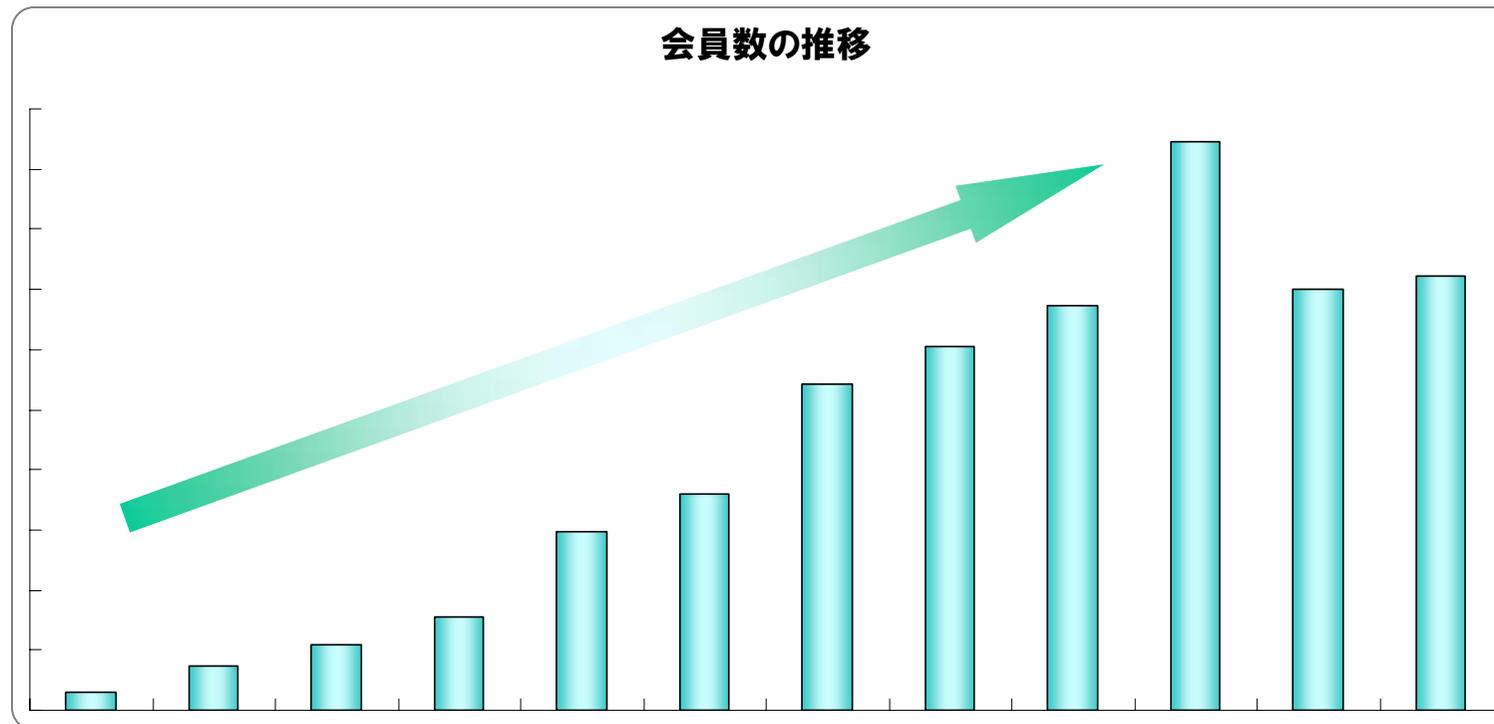
- ◆ 飲食店向けに、従来の求人情報以外に集客向上支援を実施
 - 株式会社カカクコムの『食べログ』の販売を行う
- ◆ 自社商品『ハンジョーモ』の販売開始



基本戦略②

新規事業の基盤確立

- 食生活応援サイト『食らいふナビ』 
 - ◆ 会員数は増加傾向にあるものの、投資回収には未だ至らず



基本戦略③

その他新規事業の立ち上げ

➤ 緊急雇用創出事業『求人開拓等マッチング支援事業』の実施

- ◆ 7/11『静岡県の成長企業 合同企業説明会』を秋葉原UDXで実施



- ◆ 静岡県内企業の見学バスツアーを県内3地域で実施、各地域3社参加
 - 8/18・19 東部ツアー、8/22・23 中部ツアー、8/25・26 西部ツアー

➤ 緊急雇用創出事業『キャリアコンサルタント養成事業』の実施

- ◆ 雇用のミスマッチ解消が就職率の向上に寄与すると考え、キャリアコンサルタントの育成を図る
- ◆ 第1期(4/1～9/30)を実施終了 16名を雇用し、うち12名が当社認定資格試験に合格

新しいシゴト, 新しいジブン

DOMO!
DOMO!NET

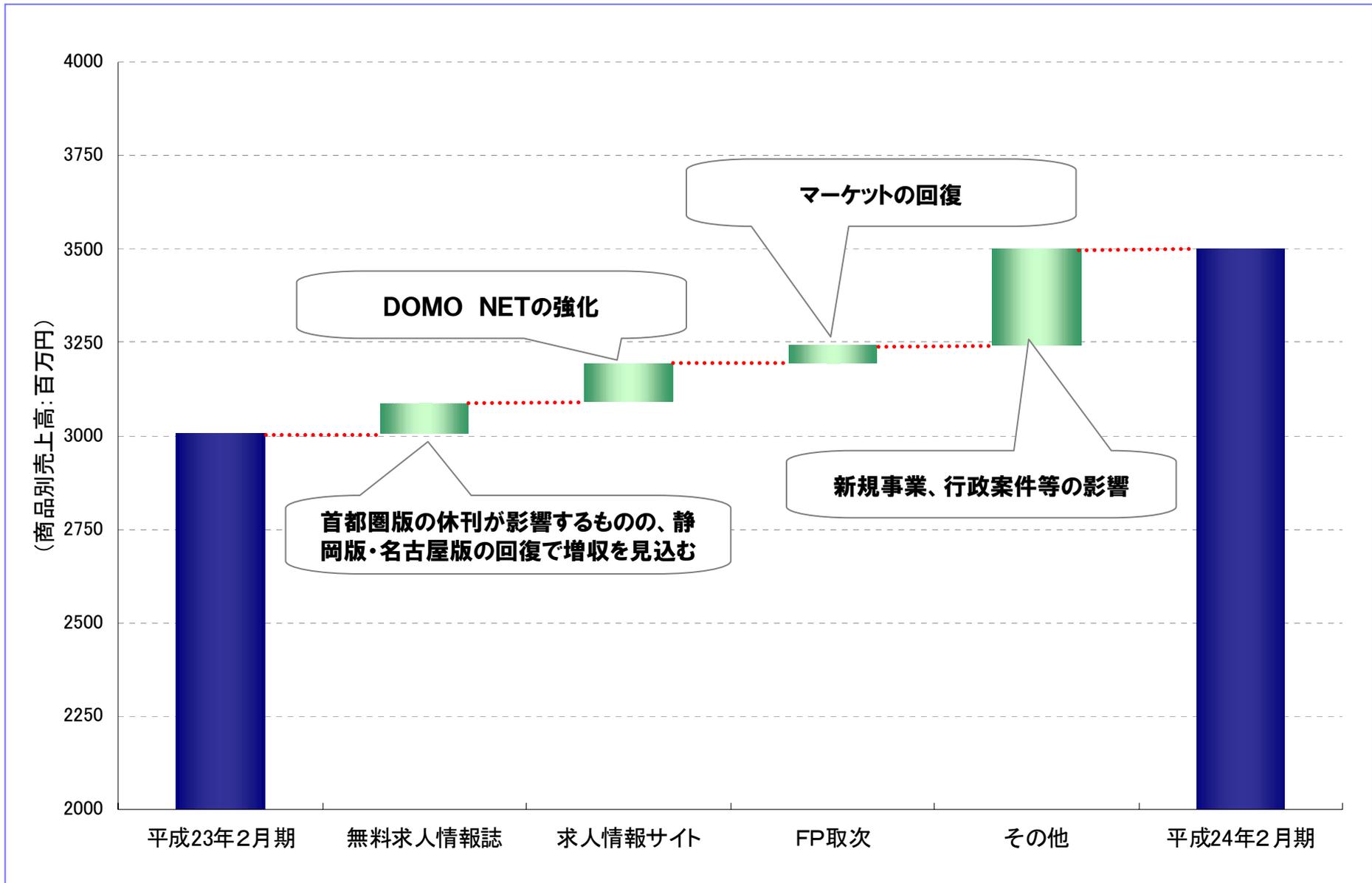
連結業績予想

平成23年3月1日～平成24年2月29日

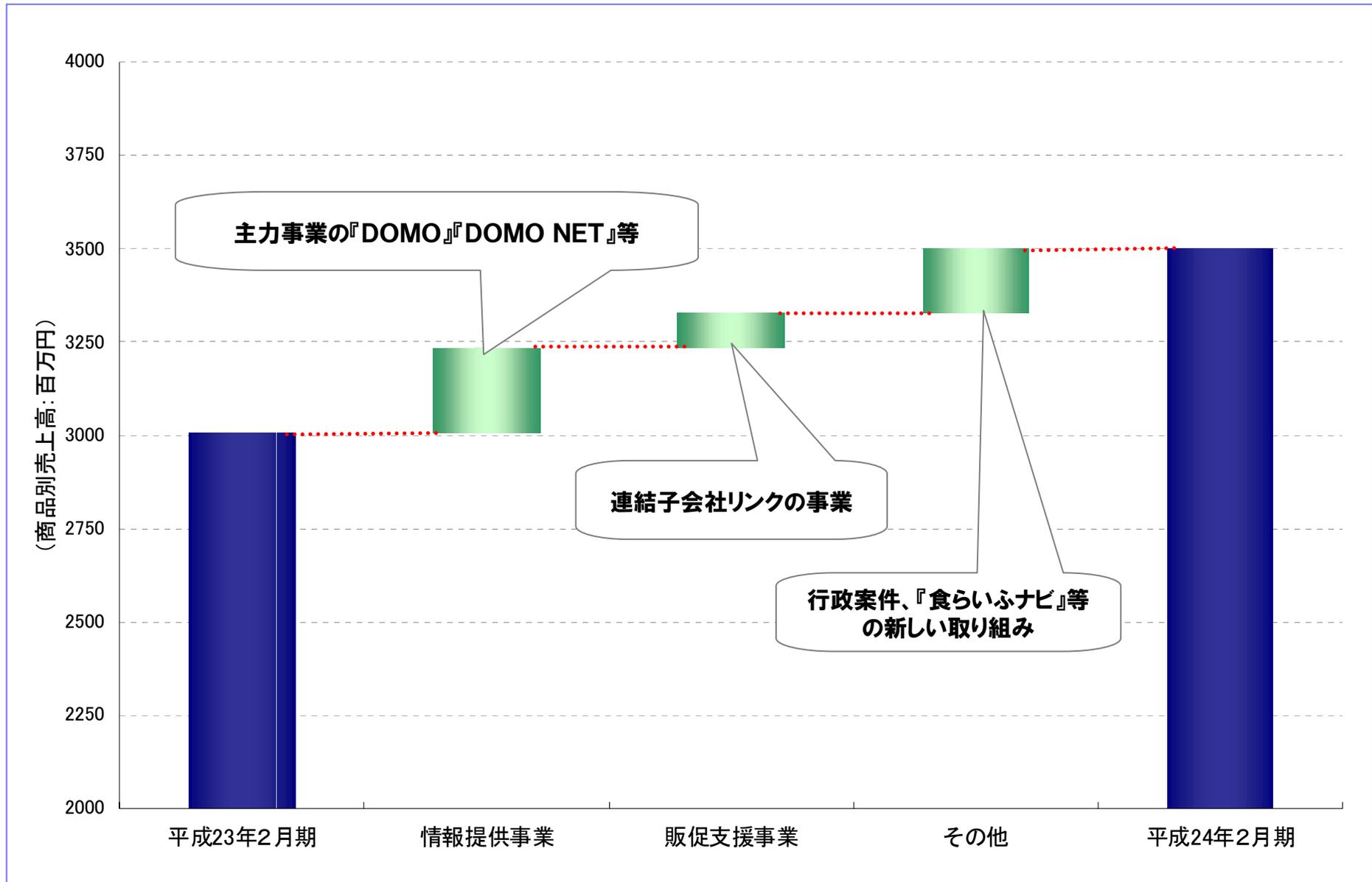
業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	平成24年2月期		平成23年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,503	100.0	3,006	100.0	496	16.5
売上原価	1,410	40.3	1,240	41.2	170	13.8
印刷費	446	12.7	411	13.7	35	8.5
労務費	208	6.0	139	4.6	69	49.9
減価償却費	111	3.2	137	4.6	△25	△18.6
その他売上原価	643	18.4	552	18.4	91	16.5
売上総利益	2,092	59.7	1,766	58.8	326	18.5
販管費	1,888	53.9	1,707	56.8	180	10.6
人件費	1,097	31.3	990	33.0	106	10.8
広告・販促費	202	5.8	72	2.4	130	180.6
流通費	110	3.2	151	5.0	△40	△26.9
減価償却費	66	1.9	89	3.0	△23	△26.1
その他販管費	411	11.7	403	13.4	7	1.9
営業利益	204	5.8	59	2.0	145	245.3
経常利益	205	5.9	64	2.2	140	216.4
税金等調整前	201	5.7	54	1.8	146	266.3
当期純利益	186	5.3	150	5.0	36	24.2
EPS	¥5.55		¥4.47			

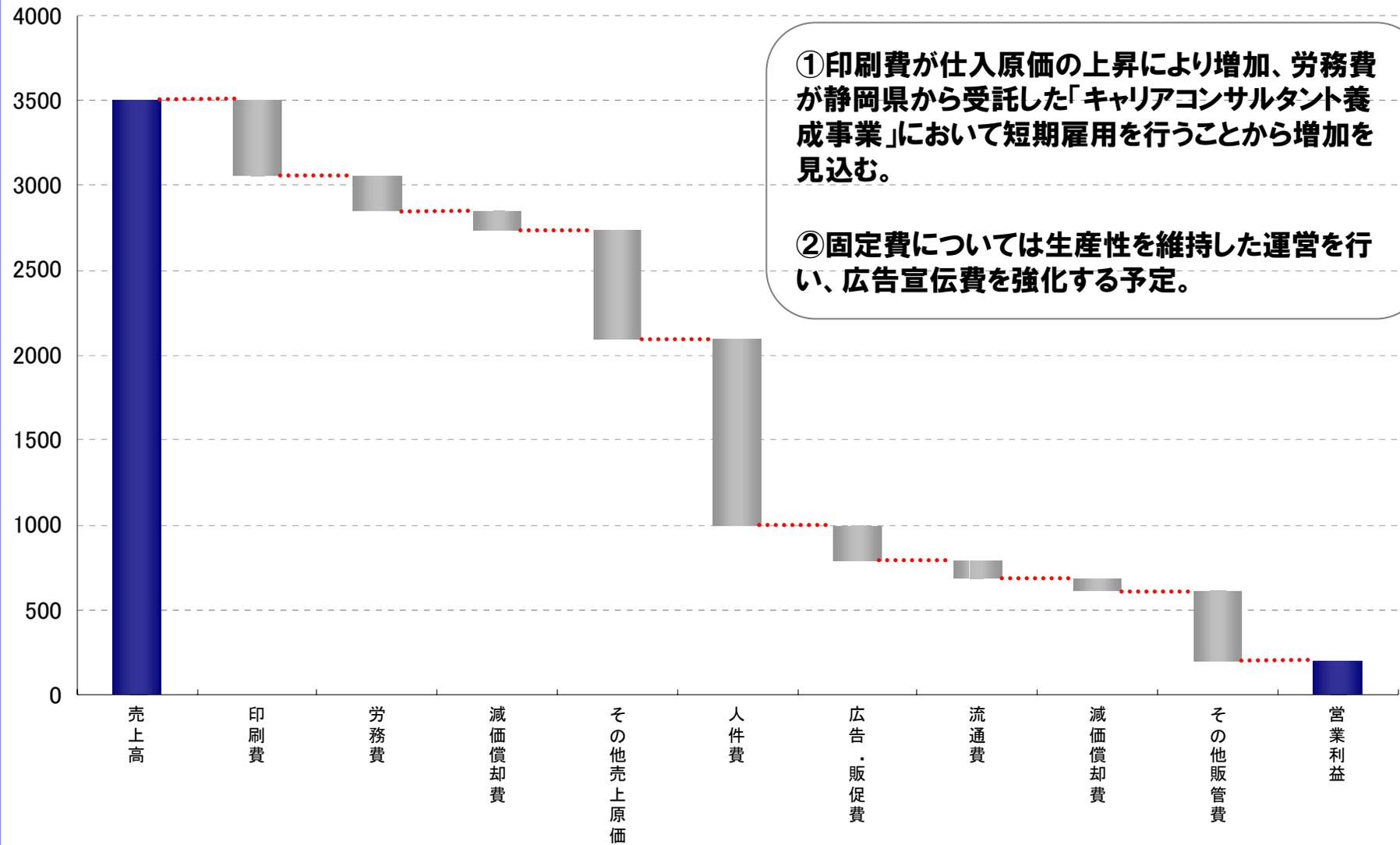
商品別売上高の増減要因



セグメント別売上高(参考)



営業利益の増減要因



株主還元

連結当期純利益の30%を目処

- 当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。
- 一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結当期純利益の30%を目処に配当を行う方針です。
- 当期におきましては、連結当期純利益を計上したものの、新規事業向けを中心とした投資に充当したく、期末配当金は無配となる予定です。次期の配当につきましては、1株当たり2円の期末配当を予定しております。

自己株式の取得について

➤ 自己株式の取得を行う理由

- ◆ 将来の経営環境の変化に対応する機動的な資本政策の遂行を可能とするため、また、株主の皆様への利益還元を図るため

➤ 取得の内容

- ◆ 取得する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 取得する株式の総数 1,700,000株(上限)
 - ・ (発行済株式総数(自己株式を除く)に占める割合 5.05%)
- ◆ 株式の取得価額の総額 150百万円(上限)
- ◆ 取得する期間 平成23年10月13日～平成23年12月8日
- ◆ 取得方法 信託方式による市場買付

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

連絡先

株式会社アルバイトタイムス 経営企画部

TEL:03-3254-2503

FAX:03-3254-2444

E-Mail:ir@atimes.co.jp

住所:101-0041

千代田区神田須田町1-24 アイセ神田ビル4F

HP:http://www.atimes.co.jp